

成形伸縮目地工業会規格

成形伸縮目地材

Standard Specification Preformed Expansion Joint Filler

1. **適用範囲** この規格は、建築物の防水層の上に打設する保護コンクリートに用いる成形伸縮目地材（以下、目地材と称する。）について規定する。

備考 1. この規格の引用規格は、**付表 1.**に示す。

2. この規格の中で { } を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考値である。

3. 目地材の基本構造は、保護コンクリートのムーブメントを緩衝する本体と本体頂部のキャップとからなる。なおこれに本体を支持するベースを備える場合もある。

2. **用語** この規格で用いる主な用語は、次のとおりとする。

- (1) **本体** 主として合成樹脂の発泡体からなり、保護コンクリート層のムーブメントを緩衝するよう、所定の柔軟性、復元性を有しているものとする。
- (2) **キャップ** 合成ゴムや合成樹脂からなり、本体の頂部にあって、所定の寸法安定性、耐荷重性、耐摩耗性、耐衝撃性を有しているものとする。
- (3) **ベース** 主として合成樹脂の発泡体からなり、目地材を支持するために目地材の全延長にわたって使用し、防水層を傷つけないものとする。
- (4) **高さ可変型** 所定の高さ調整機能及びベース幅を有し、保護コンクリートの厚さの変化に連続して適応可能なものとする。
- (5) **高さ固定型** スラブで水勾配が確保されていて、保護コンクリートの厚さの変化が少ない場合に適応可能なものとする。
- (6) **付着層** 非加硫ブチルゴムからなり、キャップと保護コンクリート間の水密性保持などを目的として用いられる。

3. 種類

3.1. **形状による区分** 目地材の形状による区分は、コンクリートのムーブメントの緩衝、水密性、アンカー効果などにより、1類、2類の2種類に分類する。

表1 形状による区分

区 分	種 類
1 類 (付着タイプ)	保護コンクリートに対する「付着層を備えたキャップ」又は「付着層とアンカー効果を備えたキャップ」と「本体」を組み合わせ、所定の品質を有する目地材。
2 類 (アンカータイプ)	保護コンクリートに対する「アンカー効果を備えたキャップ」と「本体」を組み合わせ、所定の品質を有する目地材。